

### 3.17.3 産業振興部門 情報バリアフリー推進室

室長 野尻 誠 ほか2名

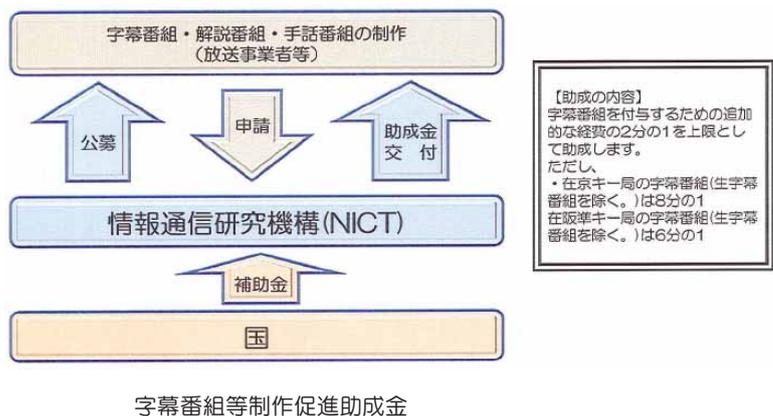
#### 情報弱者への支援 (情報バリアフリーへの取組み)

##### 【概要】

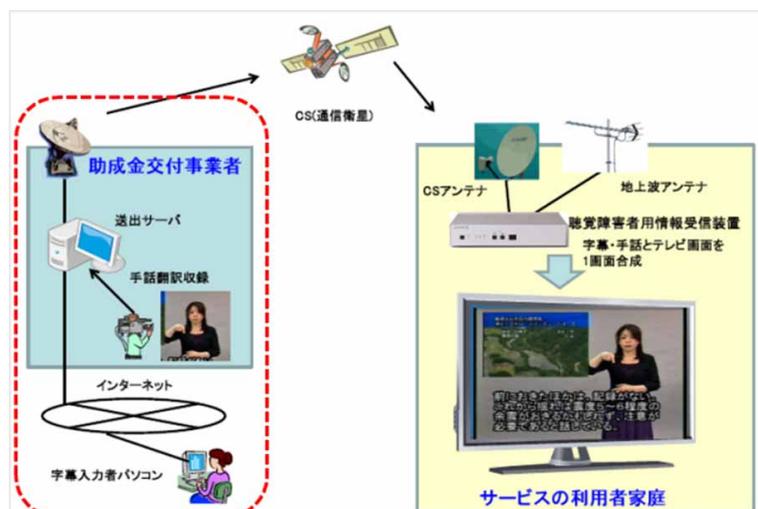
- ① 字幕・手話・解説番組制作の促進  
 障害者がテレビ放送を楽しむための、聴覚障害者向け字幕や手話の付与や視覚障害者向け解説の付与に係る経費の一部を助成。
- ② 手話翻訳映像提供の促進  
 放送番組に合成して表示される手話翻訳映像の制作に係る経費の一部を助成。
- ③ チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進  
 身体障害者の利便増進に資する波及性・有益性のある通信・放送サービスを開発・提供する事業に対して、経費の一部を助成。
- ④ 情報バリアフリー関係の情報提供  
 身体障害者や高齢者を含む誰もが利用しやすい情報バリアフリーの実現に資するための情報の提供。

##### 【平成 25 年度の成果】

- ① 字幕・手話・解説番組制作の促進 (字幕番組等制作促進助成金)
  - 平成 25 年度は、112 の放送事業者の 55,759 本の字幕番組等に対して助成し、字幕等が付与された放送番組の拡充に貢献した。
  - 解説番組、手話番組に対して、優先的に予算配分を行い効率的な助成を実施した。



- ② 手話翻訳映像提供の促進 (手話翻訳映像提供促進助成金)
  - 平成 25 年度は、203 番組の聴覚障害者向けの手話番組の制作に貢献した。

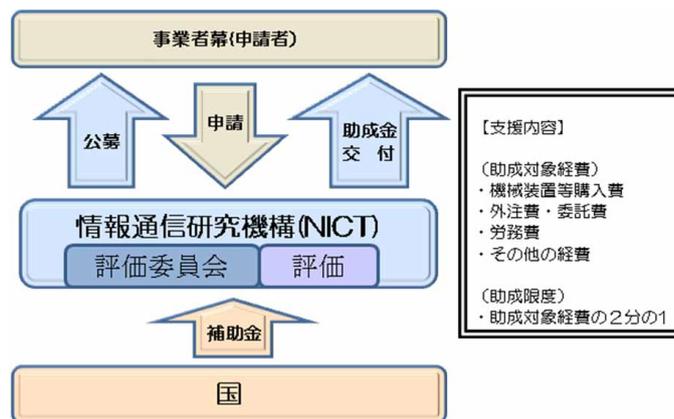


手話翻訳映像提供のイメージ

### ③ チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

(チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金)

- 平成 25 年度は 11 件の応募があり、7 件に助成した。
- 公募については、NICT Web サイト、公募説明会、報道発表、「情報バリアフリーのための情報提供サイト」の登録者へのメール配信など様々な手段で実施した。
- 助成事業者に対して、第 40 回国際福祉機器展 (H.C.R.2013) において助成成果の発表やデモの実施の場を提供し、その成果を広く障害者や社会福祉に携わる団体、関係者にアピールした。



チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金

### <平成 25 年度助成案件>

■ は新規(事業者名は五十音順)

助成対象事業の名称	助成対象事業者名	所在地
モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)	株式会社アイセック・ジャパン	沖縄県
障害者用インターネット利用環境オーダーメイド&オンラインサポートサービス提供	イデア・フロント株式会社	東京都
障害者の雇用確保のための在宅就労支援とウェブアクセシビリティの普及	株式会社インフォ・クリエイツ	東京都
聴覚障害者向けリアルタイム字幕配信役務の提供	NPO 法人シーエス障害者放送統一機構	大阪府
複数情報伝達モードを備えたユニバーサルな電話リレーサービスの提供	株式会社 SOBA プロジェクト	京都府
聴覚障がい者の為の代理電話サービスと遠隔(手話・文字)通訳サービスの役務提供	株式会社プラスヴォイス	宮城県
インターネットを利用した DVD 等の視聴覚障害者用字幕、手話、音声ガイドの提供	NPO 法人メディア・アクセス・サポートセンター	東京都

### ④ 情報バリアフリー関係の情報提供

- NICT Web サイトの「情報バリアフリーのための情報提供サイト」において、身体障害者や高齢者などの Web アクセシビリティに配慮して、身体障害者や高齢者、その他関係者に役立つ情報を提供した。
- 平成 25 年度の年間アクセス数は、約 57 万件となった。
- 情報バリアフリー関係情報の提供についてアンケート調査を行い、9 割以上の回答者から肯定的評価を得た。

### 情報バリアフリーのための情報提供サイトへようこそ

情報バリアフリー社会とは、高齢者や障害のある方が情報通信を利用する上での障害(バリア)をなくし、全ての人が情報通信を利用できる社会を言います。身体障害のある方や高齢者のご自身、あるいはサービスや機器の開発・提供に携わる事業者の方々に、本サイトの情報を活用していただくよう期待しています。

[情報バリアフリーについての詳しい解説はこちら](#)



情報バリアフリーのための情報提供サイト